

CASBEE®あいち

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 + あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	町井製作所様高浜工場新工場	階数	地下0階地上2階
建設地	愛知県高浜市新田町三丁目1-23の一部	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	36人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2021年12月 予定	評価の実施日	2021年7月2日
敷地面積	2,326 m ²	作成者	大塚 貢
建築面積	1,585 m ²	確認日	2021年7月2日
延床面積	3,341 m ²	確認者	大塚 貢

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
BEE = 1.1 ★★★★☆	A: ★★★★☆ B+: ★★★★ B: ★★★ C: ★	30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆		 このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです。	
2-4 中項目の評価(バーチャート)		Q のスコア = 2.5			
Q 環境品質	Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)	LR のスコア = 3.5	LR3 のスコア = 3.3
Q1のスコア = 0.0	Q2のスコア = 3.7	Q3のスコア = 1.7	LR1 のスコア = 4.0	LR2 のスコア = 3.2	LR3 のスコア = 3.3
音環境 溫熱環境 光・視環境 空気質環境	機能性 耐用性 対応性	生物環境 まちなみ 地域性・	建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的	水資源 非再生材料の 汚染物質	地球温暖化 地域環境 周辺環境
① 地球温暖化への配慮	② 資源の有効活用	③ 敷地内の緑化	④ 地域材の活用	各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。 ① 地球温暖化への配慮 ② 資源の有効活用 ③ 敷地内の緑化 ④ 地域材の活用	
3.6	3.5	1.0	1.0	外構緑化指標(外構緑化面積/外構面積) 0.0 % 建物緑化指標(建物緑化面積/建築面積) 0.0 %	
3.6	3.5	1.0	1.0	<外装材に使用した地域性のある材料> なし <建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材> なし	
各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。 ① 地球温暖化への配慮 LR-3 1 地球温暖化への配慮 ② 資源の有効活用 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減 ③ 敷地内の緑化 Q-3 1 生物環境の保全と創出					

スコアシート	実施設計段階	配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
					評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	
Q 建築物の環境品質										
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル					3.0	-				
1.2 遮音					-	-				
1 開口部遮音性能					-	-				
2 界壁遮音性能					-	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-				
1.3 吸音					-	-				
2 溫熱環境										
2.1 室温制御										
1 室温					3.0	-				
2 外皮性能					3.0	-				
3 ゾーン別制御性					3.0	-				
2.2 湿度制御					3.0	-				
2.3 空調方式					3.0	-				
3 光・視環境										
3.1 昼光利用										
1 昼光率					3.0	-				
2 方位別開口					3.0	-				
3 昼光利用設備					3.0	-				
3.2 グレア対策										
1 昼光制御					5.0	-				
3.3 照度					3.0	-				
3.4 照明制御					3.0	-				
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
1 化学汚染物質					3.0	-				
4.2 換気										
1 換気量					3.0	-				
2 自然換気性能					3.0	-				
3 取り入れ外気への配慮					3.0	-				
4.3 運用管理										
1 CO ₂ の監視					3.0	-				
2 喫煙の制御					3.0	-				
Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
1 広さ・収納性					3.0	-				
2 高度情報通信設備対応					3.0	-				
3 バリアフリー計画	独自				3.0	-				
1.2 心理性・快適性										
1 広さ感・景観 (天井高)					3.0	-				
2 リフレッシュスペース					3.0	-				
3 内装計画					3.0	-				
1.3 維持管理										
1 維持管理に配慮した設計					3.0	-				
2 維持管理用機能の確保					3.0	-				
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震・制震・制振					0.5	3.3	0.52			3.3
1 耐震性(建物のこわれにくさ)					0.4	3.0	0.48			
2 免震・制震・制振性能					3.0	3.0	0.80			
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	3.0	0.20			
1 車体材料の耐用年数					0.3	3.9	0.33			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔										
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					3.0	3.0	0.23			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					5.0	5.0	0.23			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					5.0	5.0	0.09			
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	3.0	0.08			
2.4 信頼性					5.0	5.0	0.15			
1 空調・換気設備					3.0	3.0	0.23			
2 給排水・衛生設備					0.1	3.0	0.19			
3 電気設備					3.0	3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法					3.0	3.0	0.20			
5 通信・情報設備					3.0	3.0	0.20			

外壁:GL鋼板:30年

天井:ティッキフレート:30年、壁:PB:20年、床:RC:65年

給水:塩ビ:B、汚水、雑排水:塩ビ:B、冷媒:銅管:C、Eは不使用

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.6
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.6	0.10	
② 資源の有効活用				3.5
Q2-2	耐震性・信頼性	3.3	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	4.2	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化
重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}$
重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用
重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■建物名称 町井製作所様高浜工場新工場

計画上の配慮事項	
総合	工場施設として周辺環境に配慮した配置計画としている。 設備機器、配管の更新性に配慮している。
Q1 室内環境	-
Q2 サービス性能	階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより空間にゆとりをもたせている。 補修必要間隔の長い外壁材、仕上材、配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	敷地境界部には見通しの良いメッシュフェンスを設け、防犯性に配慮している
LR1 エネルギー	LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。
LR2 資源・マテリアル	自動水栓や、自動洗浄小便器などの省水型機器を用いるなど水資源を保護している。 発泡剤を用いた断熱材を使用しないなど汚染物質含有材料の使用を回避している。
LR3 敷地外環境	広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。 燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。
その他	-